

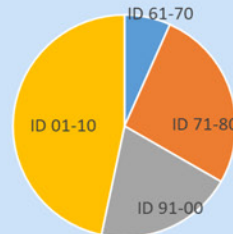
学報『The ICU』53号特集

一般教育科目の思い出

募集期間：2023年12月～2024年1月30日

回答者の卒業年内訳

一般教育科目の思い出をお寄せくださった方に深く感謝申し上げます。専門の学びより楽しく衝撃的と書かれた方が多くいらっしゃり、人生の長きに渡り影響を与えた一般教育科目の意義をあらためて実感する機会となりました。今後の大学運営に活かしてまいります。以下、受講年ごとにコメントをまとめています。一部割愛させていただいた部分もございますが、何卒ご了承ください。



国際基督教大学パブリックリレーションズ・オフィス

1961-1970

数学の構造（絹川正吉）



ジェネエドで衝撃的だったのは数学だ。50年以上経った今でも鮮明に覚えている。いきなり「平行線は無限遠点で交わる」という信じ難いテーマで講義が始まったのは1年次3学期目のこと。毎回、ユークリッドではありえない証明問題に驚かされたが、ロバチェフスキーに付き合ひ始めると、その論理展開に共感できるようになっていく。何だかとても新しいことを発見できたような喜びがあり、初めて大学生になった実感が湧いてきた。社会科学専攻の私だったが、この数学の講義は視点を変えることで広い世界を見せてくれるので面白かった。

今から60年も前のことになります。数学は好きだったのですが、平行線が交わると聞いてびっくりしました。高校までの数学ではこういった公理に基づいていろいろ問題を解いてきたのですから。授業が進むにつれて段々わからなくなり、最初の熱意は薄れていきました。しかし、いつか理解してやると今日までできましたが、今は多次元に興味を持ち、どうしたら5次元、6次元が頭に浮かぶか、2冊ほど本を読んで勉強中です。



思想史（飯野紀元・推測）



ハイデッガーの「存在と時間（Sein und Zeit）」（1927）を読むよう指示され、最初の1段落を読み、腰を抜かしました。全く意味がわからず、ハイデッガーに対する劣等感意識を植え付けられました。

1971-1980

数学の構造（絹川正吉）



この講義を聞いて語学科から理学科（数学専攻）に転科しました。

テーマは非ユークリッド幾何学。定理に証明が成立していった、最後に「相似形の面積は等しい」となって否定されるプロセスを追った経験は、物事を異なる角度から見て考えることの大切さを学ぶ、まさにジェネードの醍醐味でした。



文学の世界（荒木享）



当初フランス文学の先生がなぜ人類学？と疑心暗鬼が始まりましたが、徐々に授業内容の魅力に惹きつけられていきました。テキスト『身ぶりと言葉』は難しい本ですが、面白くて一生懸命読んだ事を覚えています。『形質人類学』という学問のものの見方と特に前肢と脳の解放が複合的に作用し合って類人猿との差別化に繋がっていったという視点が画期的でした。そして「フランス文学者がなぜ人類学」が、単にご自分が翻訳されたからということではなく、まさにリベラルアーツなのか、と感じたことです。家庭科の教員となって思考・判断・表現力を醸成しています。

1981-1990

キリスト教概論



先生がテキストとした下記二冊は
人生の節々で読み返しています。
アンデルセン 絵のない絵本
ヘッセ シッダールタ

自然の化学的基礎（田坂興亜）



内容が充実かつ先進的な研究内容も分かりやすく
毎回楽しみでした。期末の日、学生2人は「出席
してなかったと思うので」と先生の指示で試験を
受けずに出ていきました。理学館の一番大きな教
室でも**先生が学生の顔を見分けられる程**私たち一
人一人に熱意を持って話してくれていたこと、そ
して**先生の毅然とした態度**とそれを素直に受け入
れた2人の姿を見て、この大学を選んで良かった
と感じました。

数学の構造（絹川正吉）



文系でしたが興味深く、食いつくように毎週受
講していました。パラドックスのお話が心に残
っています。[要領の良さよりも]99%を超える
出席率で全ての授業にのぞみ、**学ぶ姿勢に繋が
った**思い出の授業でもあります。

1991-2000

民芸の心（田中文雄）



民芸のことを知らないで受けましたが、**全て
が美しく、印象的**でした。クラスで日本民
藝館に行ったことも、よく覚えています。

2001-2010

キリスト教概論（並木浩一）



人生でほとんど接点がなかったが、旧約聖書と
はどういう意味をもつのかを教えていただきま
した。**ICUに入って良かった**、と思えました。

美術の世界（伊藤亜紀）



メジャーマイナーで教わったことよりもなぜ
か一番印象に残っています。授業中秒速で見
せていく絵のタイトルとコメントを必死にメモし、家に帰ってから先生が授業でさらった
絵をカラー印刷してノートに貼っていました。**今でもそのノートはとってあります。**



先生が教えてくださる**美術の世界の面白さに
毎回ワクワク**しました。とはいえ「easyE」
といわれていた授業だけに、テストはヒィヒィ
言いながら勉強したのを覚えています。その
後、先生の講義はほぼ全てにとって卒業。**今
でも絵画を前にさまざまなアプローチから考
えながら見る楽しみがあるのは、先生の授業
のおかげです。**

世界のことばと人々 （広瀬正宜、古藤友子、佐藤豊）



オムニバス形式でいろいろな国の文化や言語に
触れることができ、**毎週楽しみに**受講していま
した。

手話の世界（クエイ、スザンヌ）



私には生まれつきろう者である叔母がいまし
ましたが、手話が「第一言語」であるという想像
をしたことがありませんでした。学校で第一
言語での学びの権利を奪われていた「不合理
な差別」が存在していたこと。無知ゆえに自
分も無意識的に差別的な言動を多数とってき
たであろうことに**気付かされ、ショックを受
けました。**「マイノリティ」が具体的にどう
いうことか、**人生の視点の大きな転換点**とな
った授業でした。

ジェンダー研究 （御巫由美子、田中和子）



「女の子」として育てられてきたことへのも
やもやは、既にこの世に学問として存在する
のだということを知り、衝撃を受けました。
**この授業を受けたからこそ、クィア・フェミ
ニストとして生きる今があります。**

ディスカッションで、「男の人は子供が産め
ないのを不公平に思っている様子が無いから
不思議」と複数の女性から意見が出て驚きま
した。

他、音楽の世界など